

☆ 世 界

綿 花 世界の綿花消費が減少

国際綿花諮問委員会 (ICAC) によると、2015/16 年の世界の綿花消費は 3% 減の 2,360 万ト。2016/17 年は、主にポリエステル価格の低下や世界の経済成長の鈍化により横ばいが見込まれる。

- ・中国における綿花消費は、1,090 万トに達した 2007/08 年以降、2009/10 年を除き毎年減少が続いている。しかし、依然として中国は世界最大の消費国であり、2015/16 年の消費は 710 万トと推定される。中国国内の綿花価格は、ポリエステルと比べて高く、そのために 2016/17 年の綿花消費は 5% 減の 670 万トになる見通し。一方で、中国以外の主要な綿花消費国では消費の増加が予想されている。
- ・インドの綿花消費は、2015/16 年に 3% 減の 520 万トであったが、2016/17 年は 4% 増の 540 万トが見込まれる。
- ・パキスタンの消費は、エネルギー危機や高い生産コスト、綿糸の需要低下により、2015/16 年は 12% 減の 220 万ト、2016/17 年は 1% 増の 220 万ト強となる見通し。
- ・バングラデシュとベトナムは 2016/17 年に大きく成長すると見られ、ベトナムの消費は 16% 増の 130 万ト、バングラデシュは 10% 増の 120 万トとなる見通し。

中国政府が国家備蓄綿花の放出を開始し(海外速報 2016 年 5 月 20 日)、その量は 6 月 1 日の時点で 45 万トを突破。それにより備蓄量を約 1,060 万トまで減らすことができた。2016/17 年の中国の輸入は、政府の意向により 12% 減の 96 万トと予想される。しかし、中国以外では、世界最大の輸入国となったベトナムとバングラデシュの輸入が 3% 増の 650 万トとなり、世界全体の 34% を占めると見られる。2016/17 年の世界の綿花輸入は 1% 増の 740 万ト、米国からの輸入は 11% 増の 220 万トとなる見込み。

2015/16 年の世界の綿花生産は、世界の綿花作付面積や多くの国の平均イールドが縮小されたことで、17% 減の 2,180 万トとなった。しかし、2016/17 年は、世界の作付面積やイールドの改善により、6% 増の 2,300 万トとなる見通し。2016/17 年もインドが世界最大の生産国となると見られ、10% 増の 650 万トと予想される。助成金の削減や生産コストの問題により、中国は 10% 減の 460 万トとなる見込み。

世界の期末在庫は、2015/16年は8%減の2,040万トン、2016/17年末までに4%減の1,970万トンとなる見通し。2016/17年の中国以外の期末在庫は、3%増の880万トンとなると予想される。

世界の綿花需給見通し

(100万トン)

	2014/15	2015/16	2016/17
生産	26.12	21.81	23.01
消費	24.33	23.65	23.73
輸入	7.60	7.37	7.45
輸出	7.65	7.37	7.45
期末在庫	22.22	20.38	19.66
価格*	71	70*	70*

*Cotlook A インデックス(セント/ポンド)価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通しをもとに推計した。